



木村 素子
水曜会
(70分)



福山駅周辺の再生は

問 ①南口のタフシー乗降場と待機場に設けた芝生広場での実証実験の成果は。また、駅前広場協議会の分科会で福山城の遺構を生かした場づくりについて話し合ったと伺っているが、出された意見は。②今後の取り組みは。

答 ①昨年度行った実証実験では、幅広い世代の人々が広場に滞在し、さまざまな活動が生まれ、アンケートでも約96%の方から肯定的な回答が得られた。

また、分科会では、駅前広場が福山城の城郭の中にあることが感じられるような空間づくりが重要である、外堀を復元して水を張ることは維持管理や安全面から難しいなどの意見をいただいている。

②地下駐車場と送迎場の接続や広場の運営管理の方法などについても議論を深め、備後圏域の玄関口にふさわしい魅力的な駅前広場の整備に取り組む。



芝生広場での実証実験の様子



塚本 裕三
公明党
(45分)



福山市立大学における大学・高専機能強化支援事業は

問 本事業に応募した経緯は。

答 従来から、本市の産業界より理工系の人材を望む声が多く寄せられていたため学部新設の機会を模索してきたが、このたび本事業の公募があったことを受け、時機を失することのないよう申請した結果、対象に選定されたものである。

津波ハザードマップは

問 本市の津波ハザードマップはどのような被害想定で策定されているか。

答 2013年に広島県が公表した南海トラフ巨大地震による津波浸水想定に基づき作成したものである。年間で潮位が最も高いときに高さ1・2メートルの津波が発生し、かつ堤防や防波堤が機能せず地盤が沈下するという厳しい状況を想定している。



水呑学区自主防災協議会の様子



生田 政代
公明党
(45分)



イノシシ被害の対策は

問 神谷川の中州が潜み場となり、のり面を掘っているなどと聞いている。対策は県との連携が必要と考えるが。

答 6月に、民家近くの出没頻度が高い場所へ箱わな4基を設置した。また、チラシ配布など周辺住民に注意喚起を行っている。潜み場となっている河川敷の樹木や雑草の撤去などは引き続き県に要望する。



民家近くに設置した箱わな

#7119の導入は

問 昨年の9月定例会の一般質問で要望をしたが、その後の進捗状況は。

答 8月の備後圏域連携協議会で、来年度からの導入に向けて取り組むこととした。現在、関係市町や団体などと調整している。*その他、ふくやま環境美化センターの整備に伴う既存の各焼却施設休止による課題と対応などについて質問しました。

*大学・高専機能強化支援事業：デジタル・グリーンなどの成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、意欲ある大学や高等専門学校が成長分野への学部転換などの改革に予見可能性をもって踏み切るよう、機動的かつ継続的な支援を行うもの